

音楽の街実現に向け 演奏付きフォーラム

演奏会付きというユニークなフォーラムが12月2日、西河原公民館多目的ホールで催され、参加した市民は長唄やピアノ、ヴァイオリンの演奏に加え、寸劇を楽しみながら、音楽の街づくりの必要性について思いを新たにしていた。

「音楽の街—狛江」構想策定委員会（榊原徹委員長、委員10人）が主催したもの。

同委員会は、音楽を通じて心豊かな地域社会を形成し、魅力ある街づくりの試みとして「音楽の街—狛江」構想を策定することを目的として発足した。フォーラムでは、アマとプロが共同で取り組む音楽オペレッタなどユニークな活動をしている愛知県の知立市文化会館について同館チーフ



プロデューサー永井聡子さんが報告。続いて、武蔵野市民文化会館な

どで年間120本の自主事業を開催するなど精力的な活動を行っている（財）武蔵野文化事業団について職員の久久保広晴さんが具体例をまじえながら紹介した。

両市の例などをふまえて、榊原委員長が「まとめ」として「音楽の街—狛江」構想の



素案を発表した。

素案は、「音楽の街」実現に向けて①市民文化の振興と地域の活性化②高度な水準の芸術に市民が気軽に触れられる機会の提供③児童・生徒の音楽活動の推進・将来の「音楽の街」の担い手づくり④若手・新人の音楽家に対する発表の場の提供⑤外国人音楽家の支援・交流を通じた国際化の推進の5つのアプローチを示し、その具体案として公共

施設でのコンサート実施、民間音楽施設との連携、音楽の街—狛江のホームページづくり、総合的な音楽イベントの開催、市内の音楽家の指導者の派遣、若手・新人音楽家への発表の場の提供などを盛り込んでいる。

さらに、「音楽の街」検討のための組織として協議会または準備委員会の設置も求めている。

会場では、芳村孝次女さんらが長唄「越後獅子」、渡辺文子さんがピアノでF・リスト作曲「愛の夢」、三木希生子さんがヴァイオリンでV・モンティ作曲「チャールダッシュ」と邦楽と洋楽を披露。フォーラムの最後では、音楽が聞こえなくなったらどうなるかをテーマにした寸劇（写真）も上演され、参加者からは笑いがあがっていた。

今後、構想の素案は策定委員会ですらに検討を加え、「音楽の街—狛江」構想案として市長に答申する予定。

農業青年と料理交流 独身女性の参加を募集

地場野菜の調理実習を体験しながら農家の独身青年と交流しませんか——JAマインズ青壮年部が1月27日に催す「ふれあい交流会」に参加する独身女性を募集している。

当日は午前11時30分に京王線つつじヶ丘駅北口に集合、JAマインズ神代支店（調布市西つつじヶ丘）で交流会を催す。参加費は2,000円。

対象は狛江・調布・府中の独身農業青年と交流を希望する独身女性で、定員は先着30人。申し込みは15日までにFAXまたは電話で、住所、氏名、連絡先（電話・携帯電話）と「1月27日のふれあい交流会に申し込む」ことを連絡する（個人情報には主催者が注意して取り扱う）。

申込先は ☎042 (334) 6465、FAX042 (334) 6940マインズ農業協同組合本店経済指導部組織指導課 皆川さん。



新書体ブームの「生みの親」、書体デザインの世界をリード
くわやま やさぶろう
書体デザイン 桑山弥三郎さん

現在、身の回りにはさまざまな形の文字があふれている。パソコン用の日本語書体だけでも1千数百種類にのぼり、アルファベット、商品や社名などの特別にデザインされたものを加えたら、数え切れないだろう。言葉の意味や音だけでなく、文字の形にも、それにふさわしい視覚効果を求めた結果、新しい書体が次々と生み出されてきたと言えそうだ。

桑山弥三郎さんは、現在の書体の拡大のきっかけをつくったデザイナーのひとりとして、わが国の新しい書体デザインの技法や普及、著作権など、幅広い分野で活動し、常に業界をリードしてきた。これまでにデザインした書体は、企業の専用を含め約100点。そのほかに数字が約300点。さらにはワープロやパソコンの書体も数多く手がけた。また、社名や製

新書体ブームの「生みの親」、書体デザインの世界をリード

品のロゴやマークなども300点近く手がけている。日産自動車、全日空、東芝、味の素ゼネラルフーズ、三井ホームなどの企業の社名や製品、成田空港の案内板などに使われており、桑山さんの名を知らなくても、作品はほとんどの人が見ているだろう。

また、著書約60点を出版、『日本レタリング年鑑』の編集、講演、展覧会、美術大学の講師、日本タイポグラフィ協会常任委員など、書体デザインの普及と後進の指導に力を注いできた。

1938年に新潟県柏崎市に生まれ、「小学生のころから文字が好きだった」という桑山さんは高校を卒業して上京、阿佐谷美術学園、次いで武蔵野美術学校（現、武蔵野美術大学）でデザインを学んだが、同級生3人と「グループ・タイポ」を結成、卒業制作として新書体のデザインに取り組んだ。

当時は活字が主流で、書体のデザインは専門の職人の手で行われていた。桑山さんらがデザインした新書体「タイポス」は1962年に写真植字用の文字として販売され、モダンな感覚がウケて、雑誌『アンアン』『ノンノ』に使われるなど、初めてデザイナーが作成した本格的な文字として大きな反響を呼

び、新書体ブームのきっかけとなった。さらに、新書体の需要はワープロ、パソコンの普及で急速にふくらみ、桑山さん自身も写植やパソコン用の書体デザインを数多く手がけた。

書体デザインは、基本的なデザインの規則を決め、それにそってバランスなどに配慮しながら1文字ずつ作成する。アウトラインができると、コンピューターに取り込んで処理を行う。アルファベットと違い日本語は文字の数が多いため、たいへんな労力と時間がかかる。一時は東和泉に事務所を持ち、20人余りのスタッフを使っていたが、「のんびり作りたいものを手がけたい」と業務を縮小、現在は自宅で息子さんと仕事をしている。

30数年前に、調布市の多摩川住宅から中和泉へ転居。「近くの多摩川で仕事に疲れた頭を冷やすんです。水と緑のまちの名にふさわしい良い街です。住みやすくて愛着がある」と笑う。

いま取り組んでいるのが、タイポスのリニューアル。かなだけだったタイポスに漢字を加え、デザインも改良して秋に完成させる予定といい、「これまでの経験を生かし、別な美しさを出したい」と目を輝かせている。



卒業制作の新書体「タイポス」が大反響／大手企業の専用書体やロゴも多数

桑山書体デザイン室 中和泉5-40-12 ☎3488-7717

●PUBLIC INFORMATION

わっこの読者アンケート結果

11月号でお願いしました「読者アンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。おかげさまで96件のご回答をいただきました。結果の一部をご紹介します。

○わっこの評価について
①満足29%②やや満足44%③ど

7割がある程度「満足」と評価

ちらでもない16%④やや不満1%⑤不満5%⑥未回答5%
○興味のあるコーナーについて（複数回答可）
①あの店この一品19%②トップページ18%③しぜんの歳時記15%④まちの匠15%⑤komaeの仲間11%⑥まち9%⑦こまえっこ9%⑧タウンスポーツ3%⑨その他1%

「わっこの評価」については概ね7割の方がある程度満足しているとの結果になりました。「興味のあるコーナー」は「トップページ」や「あの店この一品」に人気を集まりました。

また、わっこに対するご意見もたくさんいただきましたが、特に多かったのは、わっこの誌面構成、折り方、記事の向き、字の大きさ等、誌面の体裁についての改善

のご意見でした。皆様のご意見を参考にして改善していきたいと思っております。

「あの店この一品」コーナーへの情報提供もたくさんいただきました。編集部で検討し、積極的に記事へ取り入れていきたいと思っております。

より詳しい結果報告は、市公式ホームページ内で公表いたします。ご意見・ご感想は随時受付けておりますので今後ともご協力をお願いします。

狛江市オープン卓球大会

全日本レベルの強豪も参加し熱戦

狛江市オープン卓球大会が12月10日、狛江市民総合体育館で開かれた。

狛江市卓球連盟が、卓球を通して交流を深めるとともに、全日本クラスの高度な技に触れてもらい、レベルの向上をはかろうと催しているもので、今回で14回を数える同連盟主催では最大の大会。市内をはじめ、都内や神奈川県小田原市や埼玉県草加市などから312人が参加した。

競技は男女それぞれ一般、40歳、50歳、60歳の年代別に分かれ、8クラスで予選リーグと予選リーグ1・2位による決勝トーナメント、3位以下のトーナメントが行われた。

体育館いっぱい26台

の卓球台が置かれ、中学生から70代までさまざまな年代の選手たちがくり広げる白熱した戦いとチームメイトのあげる声援で、会場はむせかえるような雰囲気。なかでも一般クラスには、関東学生卓球リーグ一部に所属する選手も出場、次々とくり出される高度なレベルのプレーに周りからはため息が上っていた。また、中学生と30代の選手が対戦する試合も見られ、中学生から次々と打ち込まれるスマッシュにおとなの選手がたじたと

なる光景も見られた。



大会の結果（敬称略）

【男子】▽一般=優勝橋本春樹（中央大学）、準優勝三浦拓（駒澤大学）、3位桑原勇希（駒澤大学）・松竹紀昭（駒澤大学）▽40歳=優勝岡村裕一（町田市役所）、準優勝横山義人（スクエア）、3位坂西吉明（森の会）・杉木浩行（たま川ク）▽50歳=優勝渡辺元和（卓伸会）、準優勝海津敬二（新百合ヶ丘）、3位安田正一（稲卓会）・幾島政幸（埼聴

TOWN SPORTS

協）▽60歳=優勝井上征治（稲卓会）準優勝鈴木たかし（HAZAWA）、3位松本光秋（HAZAWA）・宮永直志（祖師谷ク）【女子】▽一般=優勝安田美奈子（中央大学）、準優勝岩村智香（中央大学）、3位鈴木亜由美（東女体大）・太田ちひろ（meiji.c.s.c）▽40歳=優勝須貝恵子（武蔵野けやき）、準優勝村山由紀子（稲卓会）、3位斉藤修子（田園クラブ）・野沢保子（麦クラブ）▽50歳=優勝須田深雪（武蔵野卓連）、準優勝高松純子（YTC）、3位小野則子（fresh）・工藤厚子（コバクラブ）▽60歳=優勝服部洋子（アスターズ）、準優勝渡辺則子（相模原ベテラン）、3位多賀祐子（かわさき）・草間和子（九十九）。